

平成29年度木質バイオマス需要調査結果

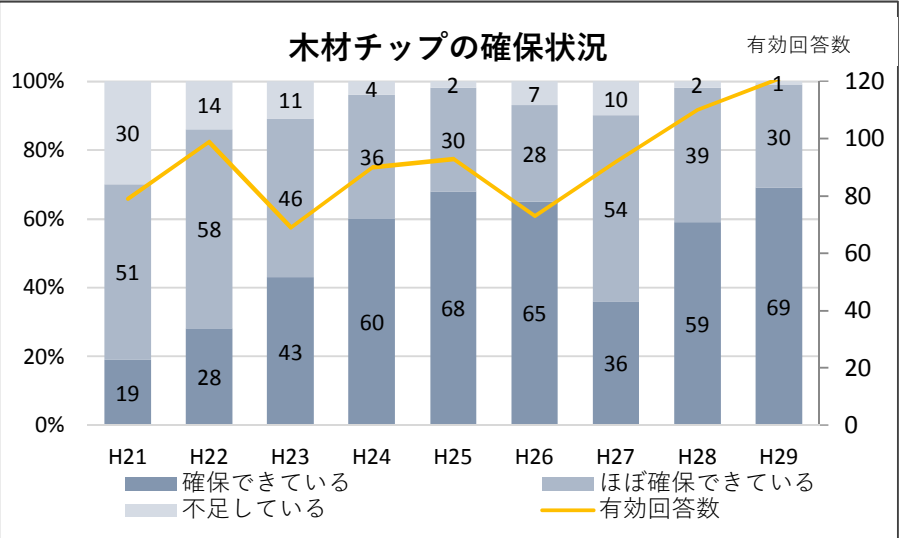
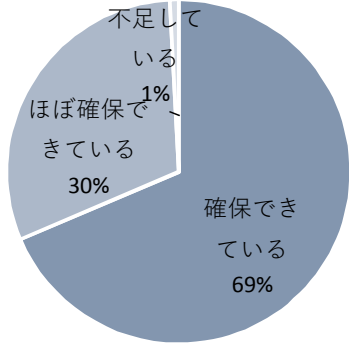
木くずチップの主要な需要施設を調査対象として、製紙会社39工場・ボード会社23工場・電力会社109カ所・セメント会社13カ所・その他38カ所 計222工場へ調査実施 そのうち133工場より回答がありました。
(昨年度110件)

木材チップの利用について

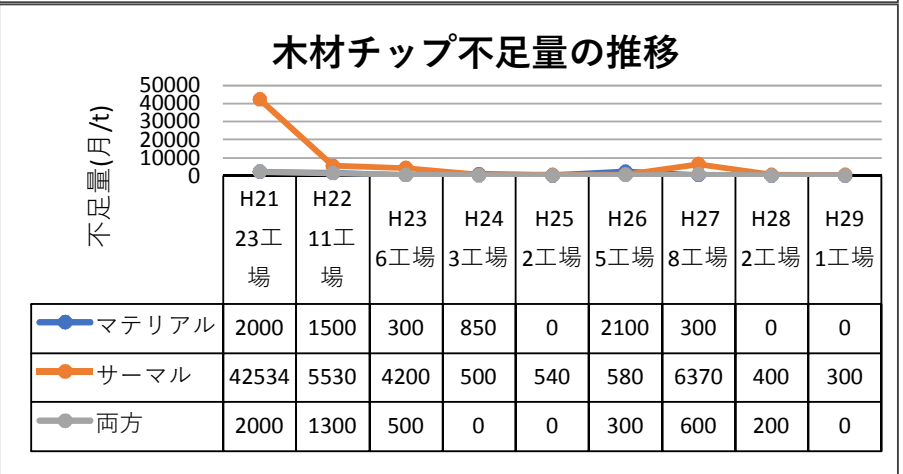
両方	マテリアル	サーマル	該当なし	合計
12	9	101	11	133

回答率
60%

平成29年度木材チップの確保状況

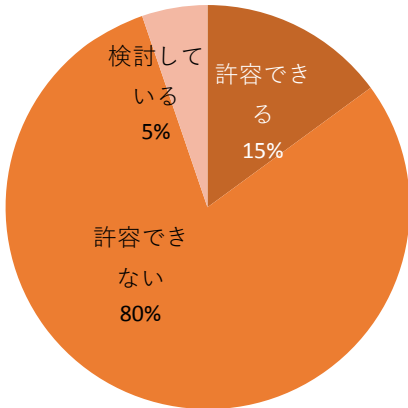


	確保できている	ほぼ確保できている	不足している
両方	9	3	0
マテリアル	7	2	0
サーマル	67	32	1
合計	83	37	1

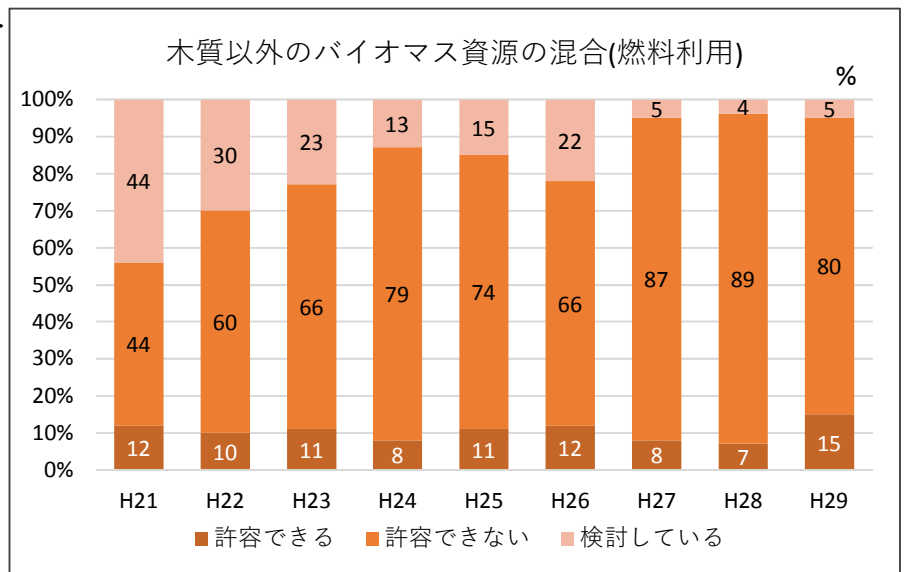


木質以外のバイオマス資源(量や草等)の混合について(燃料利用)

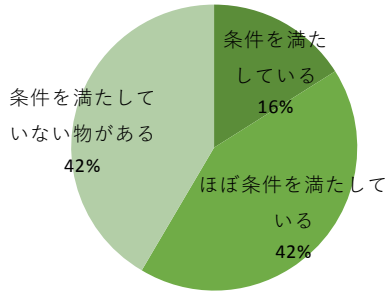
H29年度木質以外のバイオマス資源の混合



許容できる	17
許容できない	91
検討している	6



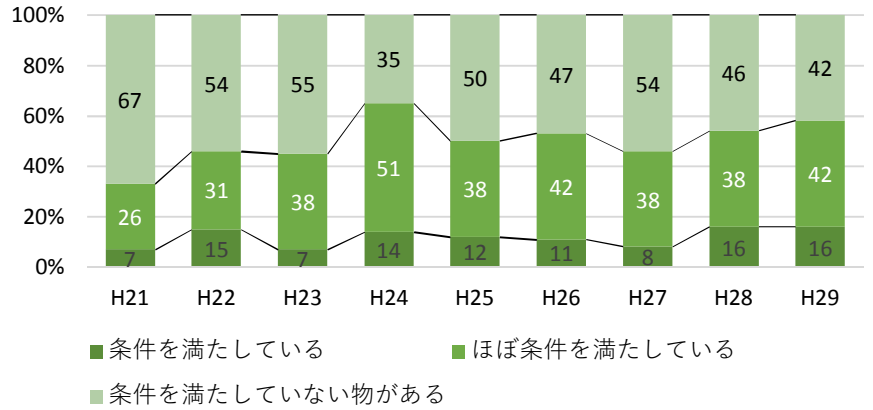
品質規格について



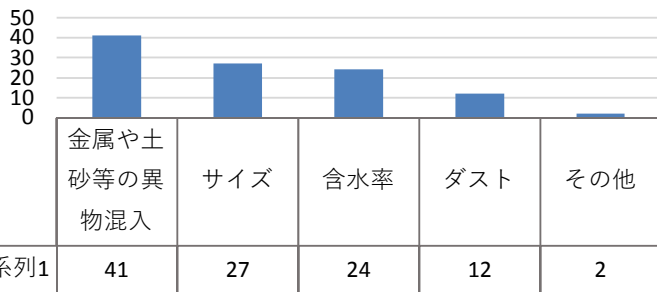
	条件を満たしている	ほぼ条件を満たしている	条件を満たしていない物がある
両方	2	5	2
マテリアル	1	5	2
サーマル	14	35	40
合計	17	45	44

品質規格について

%

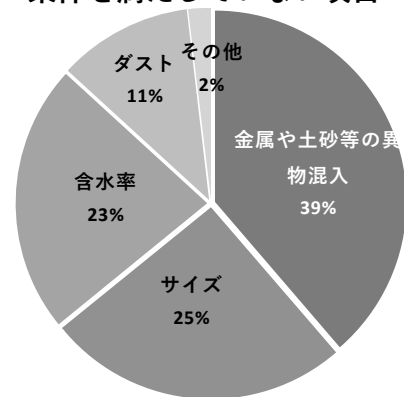


品質規格の条件を満たしていない項目



	金属や土砂等の異物混入	サイズ	含水率	ダスト	その他
両方	3	2	1	2	0
マテリアル	1	1	2	0	0
サーマル	37	24	21	10	2
合計	41	27	24	12	2

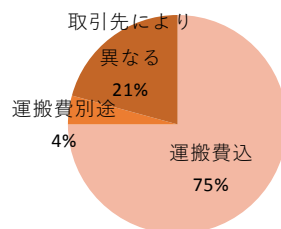
条件を満たしていない項目



その他の具体的な名称：塩ビ壁紙等

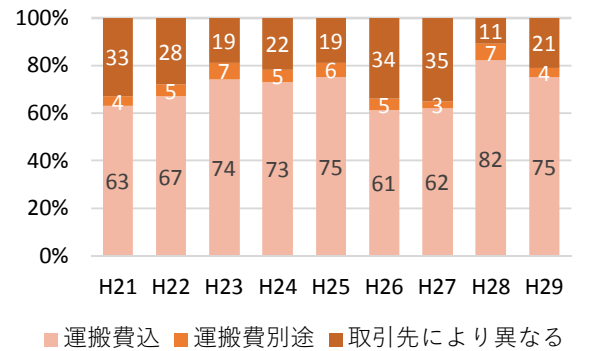
運搬費の取引状況について

	運搬費込	運搬費別途	取引先により異なる
両方	7	0	5
マテリアル	5	0	4
サーマル	78	5	16
合計	90	5	25



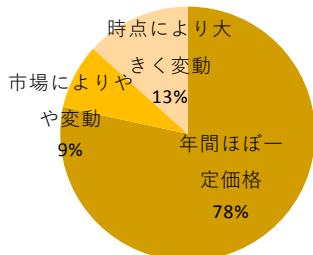
運搬費の取引状況

%



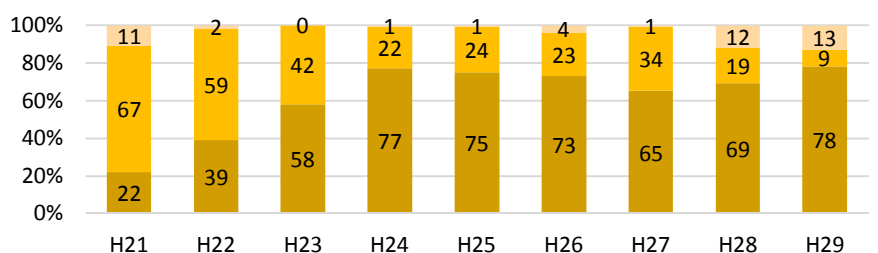
木材チップの価格について

	年間ほぼ一定価格	市場によりやや変動	時点により大きく変動
両方	7	2	3
マテリアル	6	2	1
サーマル	81	6	12
合計	94	10	16



木材チップの価格

■ 年間ほぼ一定 ■ 市場によりやや変動 ■ 時点により大きく変動 %



【供給者へのご意見・ご要望】

- ①品質規格の厳守。②過積載の徹底防止。
 - ③工場安全ルールの遵守徹底及びマナー向上(各運転手への指導)。
 - FITボイラー増加により、生産工場も増加しているが、一部の業者で有価物にし、既存業者への悪影響を出している。
 - 異物で鉄関係は除去していただいているが、最近ではアルミ関係の異物が多いのでなるべく除去して頂きたい。
 - 運搬効率の改善、荷卸し時間の短縮。
 - セメント内需が増加基調にある中、増産対応により、木質チップの使用量を抑制しています。(焼成系の燃料効率を上げ、能力増強)各供給者様へご迷惑をお掛けして申し訳ありません。
 - 中長期的な集材計画、水分率の低減
 - 長尺物や異物が入るとトラブルや搬送能力の低下につながるので、ふるい等により選別の徹底をお願いしたい。
 - 抜き打ちで成分分析を行っているが、バラつきが大きく、特に塩素、水分、シリカ、灰分等。材料次第という点ではやむを得ない所はあるが、使用する場所は変わらない為困る時もある。
 - 火が消えてしまうような含水率はやめてほしい。
 - 日頃より当社関連工場に対し、原燃料の供給ありがとうございます。依然として、大きな木片・鉄物・石・コンクリ等の混入が目立ちます。最近では、塩化ビニール製品の混入もあり、その結果、塩素が多いので使用量が減ってしまう状況も生まれていますので、注意されますようお願い致します。
 - 日頃より木質チップの安定供給にご尽力頂きありがとうございます。引き続き木質チップの収集に関してご協力よろしくお願い致します。天候不順等の影響により、チップ水分値の上昇がみられる時期があり、品質管理の徹底をお願いしたい。
 - 品質が悪い木質が多々あり、砂が非常に多いため、産廃費が非常に上がる。
 - 品質規格は厳守していただきたいです。燃えがら、ばい塵の産廃が多くなるため。
 - 品質を含めた安定供給、搬入時の過積載防止、含水率低減のため、製品置場の屋内化
 - ペレットの知名度アップを加速させることで、原料となる素材の研究開発を進めていただき、コストパフォーマンスも灯油と差別化できるのではないかと。
 - 品質基準の厳守。特に異物の混入についてはそれが即座に運転トラブルにつながる可能性が高く、一層の注意をお願いしたい。
- その他、品質と供給の安定への要望多数。

【連合会へのご意見・ご要望】

- ①需要と供給両面での数的状況の把握及び将来予測のデータ化。②FIT関連の新設ボイラー計画や使用燃料、調達状況についての情報収集、開示。③各ボイラー停止情報の共有化。
- 荷余り感がある時の対応も今後は必要になる時が来ると思われます。
- バイオマス需要調査結果が大変参考になります。
- 木材のカスケード利用拡大に向けた取組や、林道整備への積極的で早急な働きかけ(国、県)
- バイオマス稼働により、チップの争奪があるものと思われる。今後、国への働きかけを継続して行って頂きたい。
- メーカーへの要望を連合会を通じて推進して頂きたい。(生産チップの定期的な水分・フルイ・金属片混入度テスト実施の推奨)
- 先進施設の見学会等を企画して下さい。
- バイオマス証明、由来証明のスキーム図、わかりやすい解説
- 林野庁等との行政方針説明会の実施を企画頂きたい。
- 連合会の皆様には、日ごろから品質の改善取り組みや集荷体制の改善などご検討いただきありがとうございます。弊社としましては、良品質のものを安定した状態で供給して頂きますようご指導宜しくお願い致します。
- 情報提供の場を増やしてほしい。
- 需給バランスの予測を知りたい
- 地域毎の数的状況の把握(地方毎でも)
- 不純物の入っていない素材は(国内産)間伐材だけではないので、価値を上げる必要があるのではないかと。
- 需要調査等も実施していただき、それに見合った供給力をお願いしたい。
- 需要予測についてのとりまとめ、データの公表をお願いしたい。そのデータが常にアクセス可能で、また、随時更新されるものであればより良い。
- 調査結果(データ)を地域別に出せないでしょうか。
- 木質バイオマスの原料調達に関しては、既存用途に影響を及ぼさないよう、林野庁のガイドラインに定められているが、製材残材等が燃料用に転用される事例が散見される。今後、バイオマス需要の高まりにより、こういった動きが拡大される事について懸念している状況。